



2025年4月30日

各 位

会 社 名 日本精化株式会社
代表者名 代表取締役 矢野 浩史
執行役員社長
(コード番号4362 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画室長 大倉 善弘
(TEL. 06-6231-4781)

中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、2023年5月12日に公表いたしました4年間の中期経営計画(第14次中期経営計画(2023~2026年度)と長期目標のありたい姿(2030年度)について、下記の通り見直しを行いましたのでお知らせいたします。

記

1. 見直しの背景

当社は、2023年5月12日に2026年度を最終年度とする4年間の中期経営計画を公表し、事業ポートフォリオ見直し及び戦略品目の設定を行い、各主要セグメントでの戦略目標達成に向けて取り組んでまいりました。

中期経営計画2年目の節目となる決算期末を迎え、計画の進捗状況を確認いたしました。まず、機能性製品セグメントではビューティケア分野において、「化粧品用リン脂質素材」は中国景気減速もあり当初目標を下回る状況であります。また、「化粧品用機能性油剤」はサステナブル対応により海外での販売進展により当初目標を大きく上回っております。環境衛生製品セグメントは、コロナ禍後の市場・事業環境が大きく変化した影響で想定以上に厳しい状況が続いており、当初目標を下回りました。

今後の事業見通しを踏まえ、現行の中期経営計画の最終年度(2026年度)とありたい姿(2030年度)の経営目標数値と資本政策の見直しを行うことといたしました。

2. 見直しの内容

基本方針と事業ポートフォリオ見直しで設定した戦略品目に変更はありません。一方で、設備投資は、中期計画では2026年度完成を目標に「化粧品用リン脂質」設備の増設(23億円)を計画しておりましたが、現有設備の有効利用で生産能力増強を図る計画へ変更し、今後も海外市場で更なる需要増が見込まれる「化粧品用機能性油剤」に対して、約86億円の新プラントを建設する計画へ見直しをいたしました。

3. 経営目標数値(中期経営計画の最終年度(2026年度)とありたい姿(2030年度))

	2026年度		2024年度実績	2030年度	
	当初目標	見直し後	参考直近実績	当初目標	見直し後
売上高(億円)	410	380	356	500	480
営業利益(億円)	57	58	48	77	82
EBITDA(億円)	77	75	62	111	111
ROIC	8.0%	8.0%	7.1%	9.0%	10.0%
設備投資	4年間総額120→160億円		24億円	—	—
売上高研究開発費率	2.7%	2.7%	2.7%	—	—

※EBITDA：減価償却前営業利益（営業利益＋減価償却費）

ROIC：投下資本利益率（税引後営業利益÷（有利子負債＋自己資本））

4. 資本政策

	2026年度		2024年度実績	2030年度	
	当初目標	見直し後	参考直近実績	当初目標	見直し後
DOE	3.5%(目安)	4.3%(目安)	3.5%	—	5.0%(目安)
一株当り年間配当額	80円	100円	74円	100円	135円
総還元性向	平均50%以上		43%	—	—
政策保有株式比率	17%以下		21%	10%以下	

※DOE：連結純資産配当率（年間配当総額÷連結純資産、若しくは配当性向×ROE）

総還元性向：（配当総額＋自己株式取得額）÷親会社株主に帰属する当期純利益

政策保有株式比率：「保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式」の「貸借対照表計上額の合計額」が連結純資産に占める比率

内容の詳細は、2025年5月16日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

（同日、機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催予定）

（注）本資料に記載されている業績目標は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

そのため、実際の業績等は様々な要因により計画と異なる可能性があります。

以上